

ことひら

第28号

平成29年11月

発行:香川県琴平町議会

議会だより



9月議会と臨時議会(第2回)

9月定例会	2
一般質問	4

平成29年9月定例会

一般会計補正予算など 12議案を可決 人事案1件に同意



平成29年9月定例会は、9月8日から21日までの14日間の会期で開催しました。
我が事・丸ごとの地域づくり推進事業委託料、こんぴら温泉郷の看板修繕料等を増額する
一般会計補正予算案など12議案を可決、人事案1件を同意しました。

一般質問では5人の議員が本町の行政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針
等について町長や教育長にいろいろな角度・視点から質問しました。

平成28年度一般会計決算等の認定案（9議案）については、決算審査特別委員会を設置、
付託し継続審査としました。

また、町民から提出された「琴平町の小学校再編整備における住民の合意形成に関する陳
情」ほか1件は、教育厚生常任委員会に付託し、継続審査としました。

平成29年度9月補正予算

会計名	補正額	総額
一般会計	8,834万1千円	47億7,655万8千円
学校給食特別会計	19万6千円	3,468万7千円
国民健康保険特別会計	475万6千円	14億1,850万7千円
下水道特別会計	352万3千円	2億9,331万5千円
駐車場特別会計	88万5千円	1,338万3千円
介護保険特別会計	6,507万9千円	12億4,420万4千円
後期高齢者医療特別会計	415万4千円	1億6,044万5千円
温泉事業特別会計	114万9千円	3,429万1千円

琴平町固定資産評価審査委員会の委員の選任に同意

中井美恵子氏（琴平町榎井） 再任 66歳

任期：平成29年9月24日～平成32年9月23日

固定資産課税台帳に登録された価格に関する不服について審査決定する委員です。
3人の委員をもって組織され、任期は3年です。

議案の審議結果 平成29年9月定例会

議案名等	議員名		議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	議決月日
	賛成	反対	採決結果	山神猛	別所保志	吉田親司	豊嶋浩三	安川稔	渡辺信枝	片岡英樹	今田勝幸	山下康二	眞鍋壽男	
議案第1号	平成28年度琴平町一般会計歳入歳出決算の認定について													
議案第2号	平成28年度琴平町学校給食特別会計歳入歳出決算の認定について													
議案第3号	平成28年度琴平町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について													
議案第4号	平成28年度琴平町下水道特別会計歳入歳出決算の認定について													
議案第5号	平成28年度琴平町駐車場特別会計歳入歳出決算の認定について													
議案第6号	平成28年度琴平町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について													
議案第7号	平成28年度琴平町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について													
議案第8号	平成28年度琴平町温泉事業特別会計歳入歳出決算の認定について													
議案第9号	平成28年度琴平町水道事業会計決算の認定について													
議案第10号	平成29年度琴平町一般会計補正予算（第3号）	8	1	可	—	○	○	○	○	○	×	○	○	9/21
議案第11号	平成29年度琴平町学校給食特別会計補正予算（第1号）	9	0	可	—	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第12号	平成29年度琴平町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	9	0	同	—	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第13号	平成29年度琴平町下水道特別会計補正予算（第1号）	9	0	可	—	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第14号	平成29年度琴平町駐車場特別会計補正予算（第1号）	9	0	可	—	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第15号	平成29年度琴平町介護保険特別会計補正予算（第1号）	9	0	可	—	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第16号	平成29年度琴平町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	9	0	可	—	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第17号	平成29年度琴平町温泉事業特別会計補正予算（第1号）	9	0	可	—	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第18号	琴平町報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例													
議案第19号	琴平町水道事業給水条例の一部を改正する条例	8	1	可	—	○	○	○	○	○	×	○	○	9/21
議案第20号	琴平町固定資産評価審査委員会委員の選任について	9	0	同	—	○	○	○	○	○	○	○	○	9/8
議案第21号	香川県広域水道企業団の設置について	8	1	可	—	○	○	○	○	○	×	○	○	9/21
議案第22号	平成29年度琴平町一般会計補正予算（第4号）	9	0	可	—	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
陳情第1号	琴平町の小学校再編整備における住民の合意形成に関する陳情													
陳情第2号	世界規模で教育を捉える琴平町の小学校の在り方に関する陳情													

平成29年 第2回（11月）臨時会

	平成28年度琴平町水道事業会計決算書の訂正について	9	0	承	—	○	○	○	○	○	○	○	○	11/6
議案第1号	専決処分の承認について （平成29年度琴平町一般会計補正予算（第5号））	9	0	承	—	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第2号	平成29年度琴平町一般会計補正予算（第6号）	9	0	可	—	○	○	○	○	○	○	○	○	〃

※ 可…可決 同…同意 承…承認
 ※ ○…賛成 ×…反対 —…議長（議長は可否同数の場合のみ表決権があります。）

平成29年度 琴平町一般会計補正予算等2件原案のとおり

可決
承認

平成29年第2回(11月)臨時会を11月6日に開催しました。台風被害に伴う墓地及び道路維持修繕費等1,225万円を増額する補正予算1議案、先般の衆議院議員総選挙実施による補正予算の専決処分案1件が提案され、全員賛成で可決・承認しました。

公共施設整備調査特別委員会

琴平町議会 行政視察報告

平成29年9月25日～27日



(一社)指定管理者協会 研究発表会

東京国際フォーラム

1 基調講演

「指定管理者制度の課題と活用」

講師 東洋大学 南客員教授

指定管理者制度と業務委託、直営との違いや全国
の成功事例、責任リスク管理などを学びました。

2 協会提言発表

「指定管理者制度に関する」

自治体ガイドラインの現状」

自治体と民間事業者の双方が、
サービスの向上と資源の効率的
投資と地域社会の活性化を目指
すことが求められていると理解し
ました。



千葉県鋸南町

きよなみまち

千葉県南部、人口8千人。人口対策、地方創生事
業の一環で、廃校を活用し、都市交流施設として
「道の駅 保田(ほた)小学校」を2年前に整備。小学
校舎にレストランや宿泊施設、温浴施設、体育館に、
産直市場に建設、費用は12億円。農林水産省予算を
活用した珍しいケースといえます。

一般公募により共立メンテナンスと5年間の指定
管理者契約。入込客数31万人。目標を大きく上回る

年間6億円の売り上げ。鋸南町の観光客数の倍増に
貢献しています。利益の4割を町に使用料として支
払う。メリットは、マスコミ話
題で、知名度が上昇。地元商品
販売で農家の生産意欲向上。地
元雇用が60人。

宿泊稼働率と利益率を上げる
ことが今後の課題とのこと。
閉校施設を投資し、新たな交流
拠点に民間ノウハウを取り入れ
た事業を学びました。

みらい館 大明(東京都豊島区)

2005年に閉校した元大明小学校をNPO法人
いけぶくろ大明が、東京都豊島区と賃貸契約により
管理運営しています。校舎の教室を地域や大学のサー
クルなどの活動場所、旧小学校というロケーション
を活かした映画やドラマの撮影
現場の提供などの使用料金、約
5千万円が収入源。年間1万7
千人の利用者数。施設稼働率は
50%を超えます。地域のニーズ
を活用し、社会教育、文化の拠
点施設として、地元有志が立ち
上げたNPO組織が貢献してい
ます。



ズバリ 町政を問う



(9月定例会の風景)

A

町長 現在成年後見の基本計画について、他市町の動向を見ながら検討していく。また、介護保険事業計画策定のため、介護予防日常生活圏ニーズ調査を実施して、生活状況や施策ニーズに反映していく。

Q

豊嶋 成年後見制度の財政、人材の軽減と充実を図るために県が進める計画に参加しないのか。また、町民における介護予防対象者の把握は出来ているのか。

A

町長 県指導のもと、開発業者に丁寧な住民説明を求めて、問題が発生しないように状況の把握に努める。

Q

豊嶋 下櫛梨において、民有地のソーラー発電所建設計画がある中で、境界や里道の問題で住民とのトラブルがある事について町の対応は。

A

町長 特定場所名も借入等についても誤解が独り歩きをした事は残念だ。

Q

豊嶋 小学校建設の検討委員会での石井神社という場所を特定する発言や借入先も不確定な借入金提示した事は不誠実ではないか。



豊嶋 浩三 議員

- ◎ 不確実な資料による検討委員会答申を根拠とした住民説明会の開催はかかるものか
- ◎ 町内私有地における大規模開発計画と隣接する町里道の管理等について、町の対応は
- ◎ 成年後見制度利用促進基本計画と介護予防把握事業の現状は



渡辺 信枝 議員

◎発達障害の支援強化を
◎子育てガイドブックの
活用を

Q

渡辺 丸亀市では、発達障害に特化した取り組みとして、保、幼、小中学校へ専門の先生を派遣相談し個別に相談や、教員や保育士の支援。その他保護者の相談会、勉強会、保護者の集える場など色々な支援をしている。

三豊市では、幼稚園・保育所等に専門の先生が巡回相談し発達障害に特化した支援を保護者や先生、保育士等に行っている。
琴平町では、保護者や先生方に対して発達障害等の支援をどうしているのか。また、関係機関等と連携や連絡調整は取れているのか。

A

教育長 四国学院大学の野崎教授が、支援の必要な園児、児童、生徒に面接し、個々にあった教育方針の指導や保護者に対しての家庭での接し方や悩みなど相談のつてもらっている。また、各学校とスクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーと連携し、情報の共有化を図っている。

Q

渡辺 若い世代の移住定住を考えると、今ある子育てガイドブックを琴平町のPRも含め、ホームページ上に内容を載せて、もっと活用すべきではないか。

A

教育長 ガイドブックは、子育て家庭に必要な情報を解りやすくまとめ、内容を毎年確認し更新している。ホームページは、よくわかる所に掲載できるように、協議していく。子育て情報は、町広報を含め内容の充実に努め、有効活用してもらえようように取り組みたい。



眞鍋 籌男 議員

◎公衆トイレの改修を
◎北保育所の現状は

Q

眞鍋 札の前の公衆トイレ、また高灯籠のトイレについて、全面改修をしてほしいが、それができないのなら中だけリフォームしてはどうか。

A

町長 両トイレについては、改修の検討をしている段階である。限られた予算の中でどのように改修するかを今後、眞鍋議員のご指摘も踏まえて検討していきたい。

Q

眞鍋 住民の方より、北保育所の保育スペースがないと聞いている。オーバーな言い方だが、「芋を洗う」ような状態だという。北保育所の現状は。

A

福祉課長 北保育所は、昭和55年に建設され、当初は入所対象年齢が2歳から4歳児の保育のための施設であった。その後、社会情勢の変化により、ゼロ歳児、1歳児、5歳児の保育も求められ、現在では、6ヶ月児から預かるようになっていく。

保育室としては3部屋なので、スペースに余裕がなく、遊戯室を保育室として使っているのが現状である。



片岡 英樹 議員

◎危機的人口急減に
本気の対策を
◎生徒減の琴平中の
部活対策は

Q 片岡 人口が急減している琴平町。新築住居への100万円助成制度などの町サービスのPRが近隣市町に比べて不十分なのは、町長の人口対策への本気度が感じられない「証拠」ではないか？年間150人程度減少し、昨年の移住者はたったの3人。出生は40人弱。若い世代が減少。この厳しい現状を、町の最大課題として、検証・対策の分析をしてきたか。大胆な琴平らしい施策をすべき、他市町と同じ予算では負けてしまう。

A 町長 一昨年に策定した人口ビジョン、総合戦略の有識者会議で検証を予定している。本気度は持っている。子育て支援や若者への経済支援策の充実は重要と認識。PR不足は否めない。発信PRには努めていく。

Q 片岡 生徒減により、琴平中学校の部活の数が減少傾向にあり、保護者から不安の声がある。今後の在り方の方針を示せ。外部コーチ招へい等の強化策を検討しては。

A 教育長 部活動計画は教育課程編成の中で学校長が行うが、将来については協議していきたい。今年度から文科省が部活動指導員の制度を始めた。教員の負担軽減や子どもの意欲向上効果も見込まれ、検討していきたい。



今田 勝幸 議員

◎水道事業広域化推進は、民営化への道か？町長の見解を問う
◎給食無償化求め、統合小学校建設用地購入のメドを質し、基礎学力向上には少人数学級を主張

Q 今田 北朝鮮のミサイル発射と核実験に強く抗議し、糾弾を表明。偶発的軍事衝突回避に「対話否定論」でなく、米朝直接対話を粘り強く要請を政府に要求。被爆者の悲願、核兵器を違法化した「核兵器禁止条約」を国連は122カ国の賛成で採択した。述べた後、撤回も視野に入れ、県広域水道事業体企業体設立により官民連携、民営化へと進むなら命の源の水道の取るべき道でない。

A 町長 当初はそういう話もあったが調査研究の結果、今回の企業体設立になった。仮定の話し、営利目的ならリスクもあるうかと、現時点では議論も、答えも出せない。

Q 今田 憲法26条は「義務教育は、これを無償にする」。相生市など4市28町23村は保護者負担無償化。一部補助は362自治体である。無償化を要求。中学校、小学校、役場庁舎、金丸座等老朽化・耐震対策は町財政の硬直化懸念。統合小学校の建設用地購入のメド質問。少人数学級が基礎学力向上の基礎。住民合意のない小学校の統廃合はない。更なる住民説明会を求め。

A 教育長 給食費は財政を考慮し調査、協議する。現在3小学校とも加配教員で少人数指導だが、政府の定数化の動きを考えると早急な統合が必要。説明会予定はないが丁寧に説明していく。

お知らせ

議会を見に来ませんか？

9月定例会は16名の方が会議を傍聴されました。



本町議会では、定例会を3月、6月、9月、12月の年4回（臨時会は随時）開催しています。

会議の当日、傍聴人受付簿にご記入いただき、役場3階傍聴席入口よりご入場ください。

12月定例会は 12月12日(火)に開会します。

詳しくは議会事務局（☎75-6713）までお問い合わせください。

平成29年12月定例会日程(予定)

月	日	曜日	会 議
12	12	火	本会議（提案理由説明等） 9：30～
	13	水	本会議（一般質問） 9：30～
	14	木	本会議（一般質問） 9：30～
	15	金	総務産業経済常任委員会（議案審査） 9：30～
	16	土	
	17	日	
	18	月	教育厚生常任委員会（議案審査） 9：30～
	19	火	予備日
	20	月	予備日
	21	火	予備日
	22	金	本会議（委員長報告、採決等） 9：30～

会議録もご覧ください

議会だよりでは、紙面の都合により内容を要約してお伝えしています。質疑・答弁の詳細は、会議録に詳しく掲載されていますので、ぜひご覧ください。会議録は町ホームページ内、議会欄、会議録検索システムでご覧になれます。

琴平町議会

検索

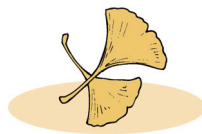


表紙の写真

11月5日、晴天のもと、いこいの郷公園において第30回町民体育祭が開催されました。幅広い年齢層で楽しく競技に参加しました。

編集後記

秋雨前線が長く居座ったために、今年度の9月議会は雨空が続く中で開催されました。平成29年度一般会計など8項目の補正予算審議と条例改正等の審議を行いました。また、28年度の歳入歳出の決算認定を決算審査特別委員会に於いて十一月中旬に審議しております。現在琴平中学校の改築事業が始まっている中で、これからの琴平町の未来を見据えて、最善の教育環境の整備と住民福祉の充実に向けた取り組みを、いち早く住民の皆様に議会だよりを通じて、より判り易くお伝え出来る様に、広報委員一同、鋭意努力を致して参ります。



(豊嶋)

発行責任者

議長 山神 猛

議会広報編集特別委員会

委員長 眞鍋 籌男

副委員長

豊嶋 浩三

片岡 英樹

渡辺 信枝

吉田 親司

別所 保志